

東京湾海況情報 22-07

東京湾水質調査結果（平成22年10月分）

平成22年10月13日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料：東京湾水質調査（内湾：10/5わかふさ、内房：10/5 ふさみ丸）
東京都環境局、神奈川県水産技術センター、千葉県環境研究センター
関東・東海海況速報

水温・塩分の状況(図1～2、表1)

表層水温は全域で平年より1℃前後高く、内湾は22～23℃、内房は23～24℃でした。

表層塩分は、東京、神奈川の沿岸域に28以下の低塩分域が見られましたが、それ以外の内湾から内房北部は29～31、湾口部は32～33とほぼ平年並みでした。

内湾の鉛直分布から、水温は表層と底層の差がほとんど無くなっていますが、塩分、密度では成層状態が依然として継続していました。

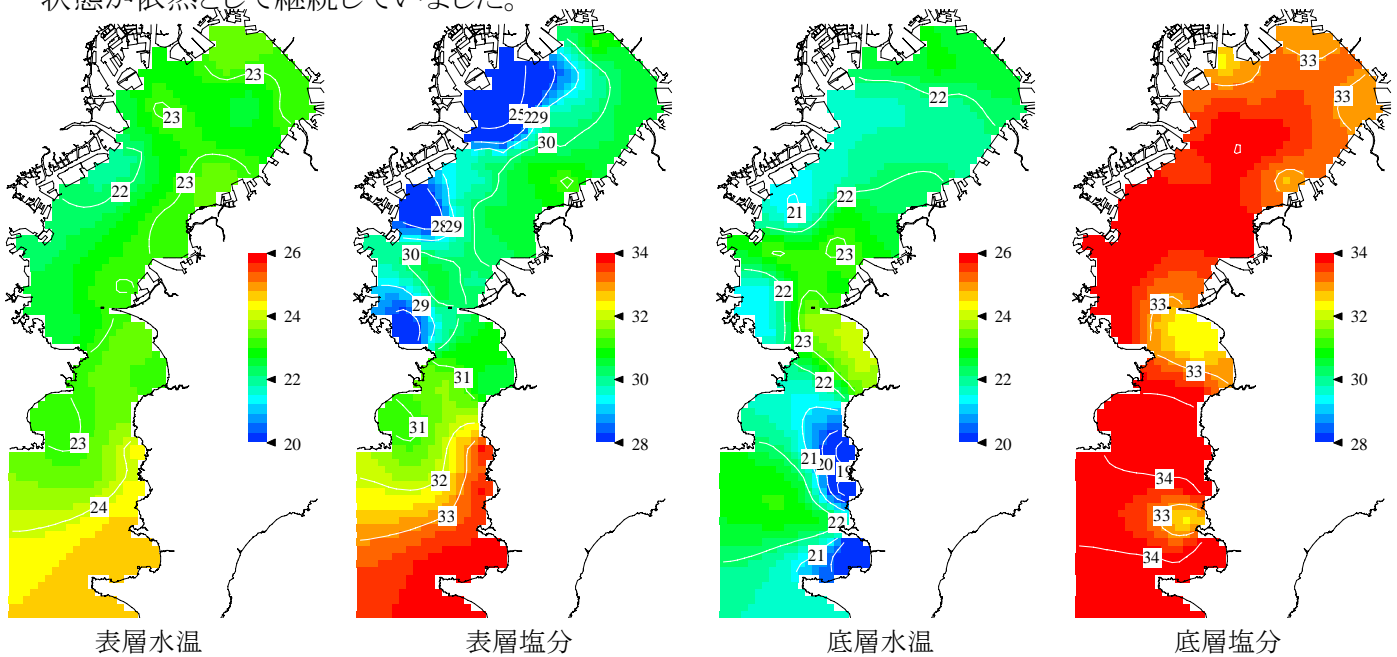


図1 水温と塩分の水平分布

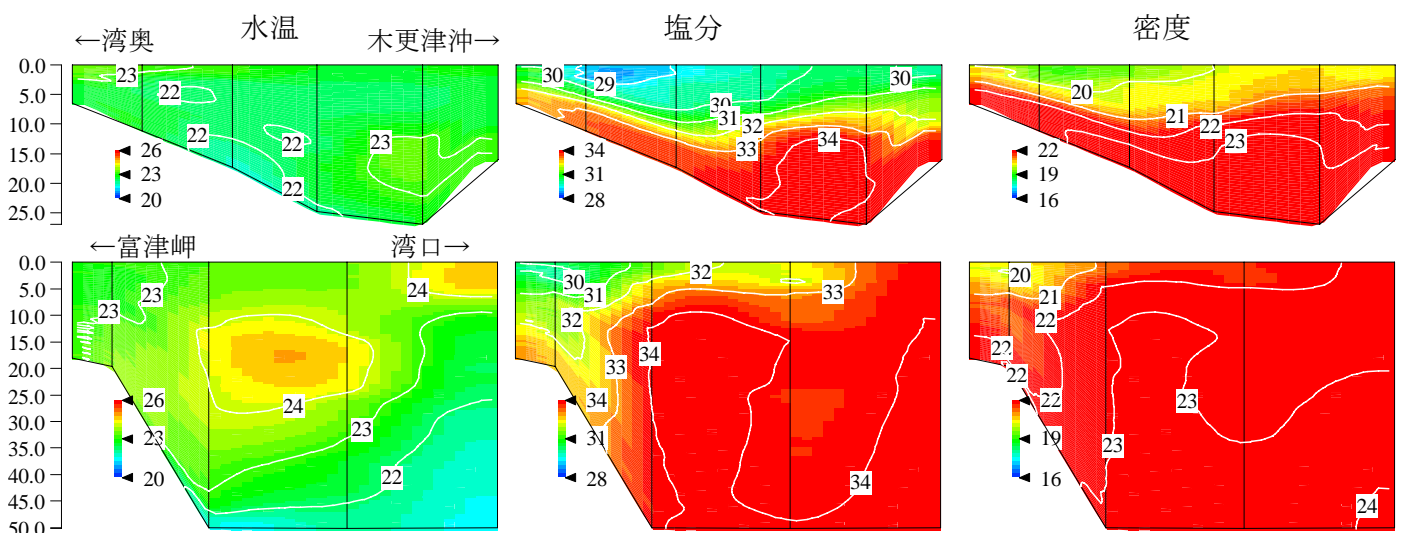


図2 鉛直分布(上:内湾, 下:内房)

赤潮の状況(図3、表1)

赤潮は、一部盤洲周辺で見られただけでした。

プランクトンは内湾から内房北部にかけて比較的多く、優占種は珪藻のキートケロス (*Cheatoceros spp.*) でした。その他に内湾では珪藻のシュードニッチア (*Pseudo-nitzschia s p.*) とスケレトネマ (*Skeletonema costatum*) が見られました。

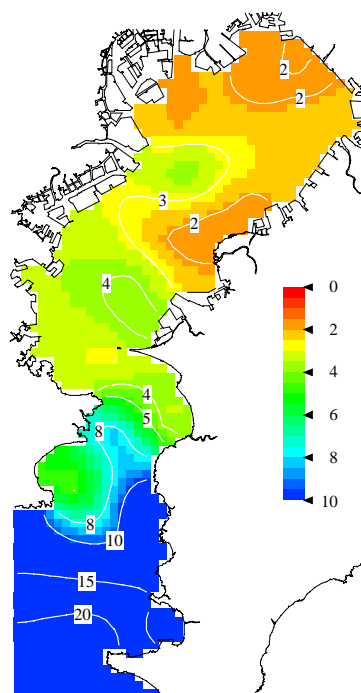


図3 透明度の分布 (m)

貧酸素水塊の状況(図4、表1)

貧酸素水塊は、内湾北部沖合を中心に広範囲に分布していました。鉛直的な分布は、縮小していました。

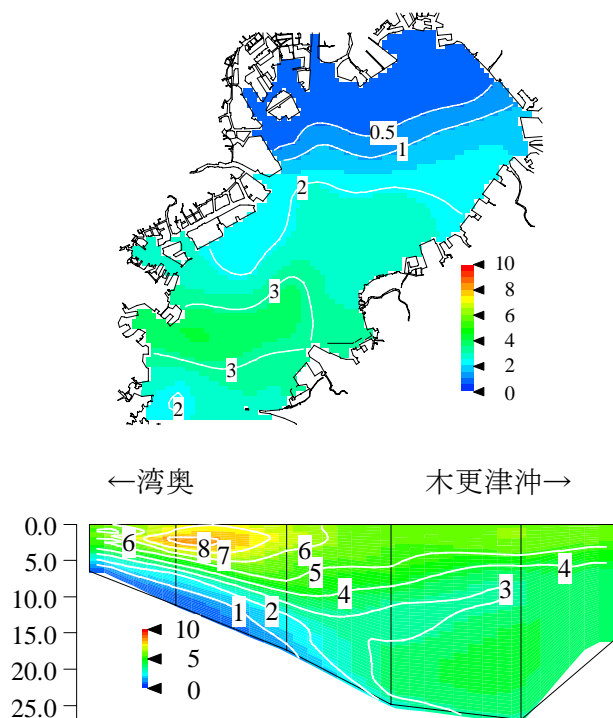


図4 内湾のDO (ml/L)

(千葉県水産総合研究センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています)

栄養塩類の状況(図5、表1)

表層の栄養塩類は、盤洲周辺でDINが非常に少なくなっていますが、全体的にはDIN、PO4-Pとも多く、のり養殖にとって十分な量となっています。

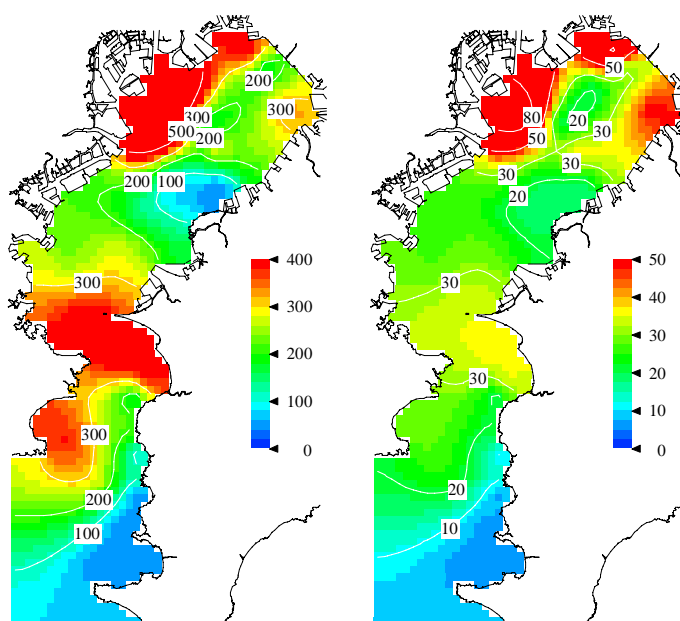


図5 表層の栄養塩類

(左:DIN, 右:PO4-P 単位はいずれも $\mu\text{g/L}$)

黒潮の状況(図6)

黒潮は、八丈島から御蔵島を通り北上し房総沖で北東に流れるB型流路となっています。先月より房総半島にやや接岸した模様です。念のため沿岸では急潮に注意してください。

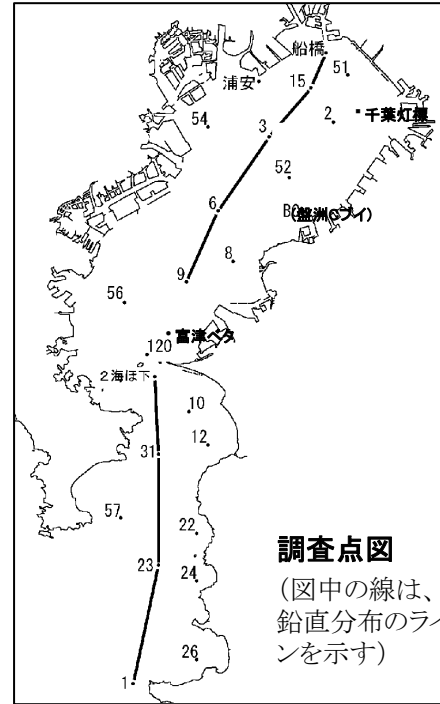
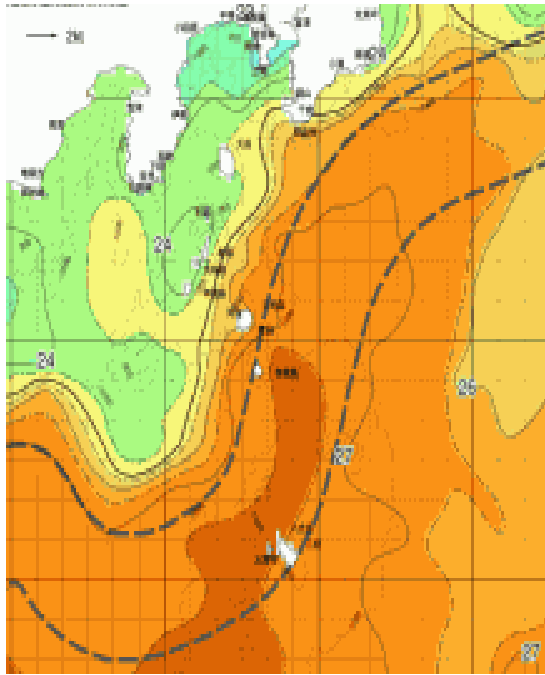


表1 主な調査点の水質調査結果(調査点は、右図参照)
(調査日 : 平成22年10月5日)

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 (μg/L)	リン酸 態リン (μg/L)	アンモニア 態窒素 (μg/L)	クロロフィル a量 (μg/L)	
内湾	船橋	2.0 (2.4)	23.4 (22.3)	30.90 (29.16)	8.2 (8.4)	0.2 (2.8)	402 (287)	82 (36)	138 (74)	27.5
	st. 15	1.8 (2.6)	23.2 (22.1)	28.84 (28.69)	8.4 (8.4)	0.2 (1.8)	269 (229)	25 (20)	6 (36)	13.7
	st. 3	2.6 (2.8)	22.9 (21.9)	29.05 (28.34)	8.4 (8.4)	0.9 (1.3)	253 (391)	24 (26)	6 (64)	19.0
	st. 6	4.0 (3.3)	22.6 (21.8)	29.61 (28.89)	8.3 (8.4)	2.2 (1.9)	268 (287)	34 (19)	5 (40)	10.5
	st. 9	3.8 (4.8)	22.7 (21.9)	29.85 (29.83)	8.3 (8.3)	3.3 (3.2)	263 (217)	27 (22)	6 (35)	10.1
	盤洲Cブイ	1.7 (3.6)	23.5 (22.8)	31.08 (30.12)	8.4 (8.3)	2.2 (2.5)	26 (224)	16 (32)	5 (45)	32.8
	st. 8 (盤洲Aブイ)	1.8 (3.8)	23.1 (21.9)	30.23 (30.09)	8.4 (8.2)	2.6 (2.4)	125 (230)	18 (32)	5 (45)	34.2
	富津ベタ	4.2 (4.9)	23.0 (22.0)	29.86 (30.19)	8.2 (8.2)	2.7 (3.8)	313 (233)	32 (26)	12 (42)	5.1
内房海域	第2海ほ下	3.0 (7.2)	22.7 (22.1)	29.60 (31.40)	8.2 (8.2)		467 (194)	34 (23)	5 (45)	18.9
	st. 31	8.5 (8.4)	23.2 (22.2)	31.48 (31.56)	8.2 (8.3)		290 (152)	29 (16)	23 (32)	4.7
	st. 23	10.0 (13.9)	23.4 (23.3)	32.14 (33.20)	8.2 (8.3)		253 (44)	20 (3)	9 (17)	6.4
	st. 1	23.0 (14.8)	24.7 (23.5)	33.97 (33.43)	8.1 (8.3)		23 (42)	4 (4)	11 (19)	0.3
	st. 10 (下洲沖)	4.0 (6.9)	23.4 (22.1)	30.73 (31.52)	8.2 (8.3)		472 (166)	36 (15)	8 (38)	
	st. 12 (湊沖)	4.0 (6.9)	23.0 (22.2)	30.46 (31.68)	8.2 (8.3)		347 (137)	32 (14)	6 (30)	
	st. 22 (保田沖)	15.0 (11.2)	24.3 (23.1)	33.71 (33.21)	8.2 (8.3)		87 (59)	10 (5)	19 (22)	
	st. 24 (富山沖)	14.0 (14.6)	24.3 (23.2)	33.72 (33.40)	8.2 (8.3)		32 (47)	5 (5)	7 (20)	
	st. 26 (館山湾内)	14.0 (14.0)	24.6 (23.3)	33.84 (33.52)	8.2 (8.2)		26 (68)	5 (7)	6 (21)	

(): 過去10年間の平均値
※透明度, pHとクロロフィルa量の橙色は赤潮, DOの青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。